

漢方製剤

劇薬

承認番号	(61AM)第3625号
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年11月

三和 葛根加朮附湯エキス細粒

かっこん かじゅつ ぶとう
(葛根加朮附湯)

貯法：室温保存
「取扱上の注意」の
項参照
使用期限：容器に表示

[組成・性状]

1) 本品1日量(7.5g)中、下記の葛根加朮附湯水製エキス4.8gを含有する。

日局 カッコ ン	4.0g	日局 タイソウ	3.0g
日局 マオウ	3.0g	日局 ショウキョウ	1.0g
日局 ケイヒ	2.0g	日局 ソウジュツ	3.0g
日局 カンゾウ	2.0g	日局 ブシ	0.5g
日局 シャクヤク	2.0g		

添加物として、乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、部分アルファー化デンプン、軽質無水ケイ酸を含有する。

2) 本品は褐色の細粒で、特異な芳香を有し、味は苦く、甘い。

[効能又は効果]

寒寒発熱して、頭痛があり、項部・肩背部に緊張感あるもの次の諸症

肩こり、肩甲部の神経痛、上半身の関節リウマチ

[用法及び用量]

通常、成人1日7.5gを3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

[使用上の注意]

(1) 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- 1) 体力の充実している患者[副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]
- 2) 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者[心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれるおそれがある。]
- 3) 著しく胃腸の虚弱な患者[食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐等があらわれるおそれがある。]
- 4) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者[これらの症状が悪化するおそれがある。]
- 5) 発汗傾向の著しい患者[発汗過多、全身脱力感等があらわれるおそれがある。]
- 6) 狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者
- 7) 重症高血圧症の患者
- 8) 高度の腎障害のある患者
- 9) 排尿障害のある患者
- 10) 甲状腺機能亢進症の患者

[6)~10)：これらの疾患及び症状が悪化するおそれがある。]

(2) 重要な基本的注意

- 1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- 3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。
ブシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

(3) 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
①マオウ含有製剤 ②エフェドリン類含有製剤 ③モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤 ④甲状腺製剤 チロキシン リオチロニン ⑤カテコールアミン製剤 アドレナリン イソプレナリン ⑥キサンチン系製剤 テオフィリン ジプロフィリン	不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等があらわれやすくなるので、減量するなど慎重に投与すること。	交感神経刺激作用が増強されることが考えられる。
⑦カンゾウ含有製剤 ⑧グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。(「重大な副作用」の項参照)	グリチルリチン酸は尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

(4) 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

1) 重大な副作用

- ①偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- ②ミオパチー：低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹、発赤、瘙痒等
自律神経系	不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等
消化器	食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐等
泌尿器	排尿障害等
その他	のぼせ、舌のしびれ等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(5) 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量する等注意すること。

(6) 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[本剤に含まれるブシの副作用があらわれやすくなる。]

(7) 小児等への投与

小児等には慎重に投与すること。[本剤にはブシが含まれている。]

**[取扱い上の注意]

- ・直射日光を避け、湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、色や味等に多少の差異を生じることがありますが、効果に変わりありません。

[包 装]

500g

[文献請求先]（お問い合わせ先）

大杉製薬株式会社 医薬情報部

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂1-8-6

TEL 050-3776-0358

製造販売元

三和生薬株式会社 栃木県宇都宮市平出工業団地6-1

発売元

大杉製薬株式会社 大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2